Bravissimo™

取扱説明書

耳かけ型補聴器 ブラビシモライト

BV-38

WIDEX®
HIGH DEFINITION HEARING

お客様の補聴器

(このページは販売店で記入します)

日付: _____

電池のタイプ:空気電池PR44 (675タイプ)

プログラム:

M（マイク）
T （テレコイル）
M+T（マイクとテレコイル）

目次

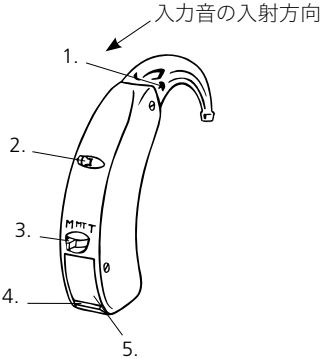
各部の名称 4
右耳用補聴器と左耳用補聴器の識別 7
補聴器の電池 8
電池の挿入方法 8
電池電圧低下のお知らせ 10
補聴器電源のオン/オフ(入/切) 11
補聴器の装着方法 12
補聴器の取り外し方法 14
音量調節 15
リスニングプログラム 16
リスニングプログラムの切り替え 17
電話の使用 18
お手入れ 19
補聴器のお手入れ 20
アクセサリ 21
故障と思われるときの対処方法 24
補聴器の取り扱い上の注意 25
特に注意すること 26
補聴器のご使用にあたって 30
電気音響的性能 31
この取扱説明書で使用される記号 35

各部の名称

この補聴器は、耳せん（イヤモールドまたはイヤチップ）とチューブで構成されるイヤセットと共に使用します。

下の図は、イヤセットを除いた補聴器本体を表しています。イヤセットは、お客様に合ったものをフィッティング担当者と共にお選びいただきます。イヤセットに関しましては、別冊の取扱説明書「耳かけ型/RIC/RITE補聴器イヤセット」をご参照ください。

1. マイクの音口
2. ボリュームコントロール
3. プログラム スイッチ
4. 電源オン/オフ（入/切）スイッチ
5. 電池ホルダー



製品のシリアル番号（通常6桁または7桁の数字）を確認するのが難しい場合は、販売店にご相談ください。

重要

この補聴器は、132 dB SPLを超える出力が可能になります。残存聴力に影響を及ぼす場合がありますので、ご注意ください。

付記

この取扱説明書に加え、お客様の補聴器と使用可能なイヤセットについての取扱説明書「耳かけ型/RIC/RITE補聴器用イヤセット」が同梱されています。

重要

この取扱説明書、および別冊の取扱説明書「耳かけ型/RIC/RITE補聴器用イヤセット」には、重要事項が記載されています。補聴器をお使いになる前に、よくお読みください。

付記

この取扱説明書に記載されている補聴器、イヤセット、付属品の図は、お客様のものと異なる場合があります。また必要が生じた場合、弊社はこの取扱説明書の記載内容を変更する場合があります。

使用目的
この補聴器は、増幅された音により日常生活での聞こえを補う機器です。

ご使用にあたって
この補聴器は、高度から重度の聴力低下を対象とした機器です。

補聴器の調整にあたっては、専門的教育を受けた補聴器技能者・言語聴覚士・医師により処方されることを推奨します。

右耳用補聴器と左耳用補聴器の識別

補聴器を両耳でお使いの場合、識別のために右の補聴器に赤色マークを付けることができます。

補聴器の電池

本品には、**ワイデックス空気電池PR44（675タイプ）**をご使用ください。

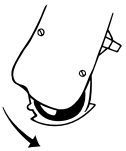
交換用電池のご購入については、販売店にご相談ください。電池を適切に動作させるため、電池のパッケージに印刷されている使用推奨期限に注意し、期限の切れた電池は使用しないでください。電池の寿命は、補聴器の設定や1日の使用時間、使用環境などによって異なります。特に冬場は、気温の低下、空気の乾燥、暖房器具などから発生する二酸化炭素などによって、電池の寿命が短くなることがあります。

電池の挿入方法

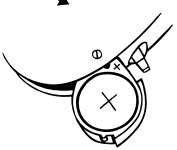
補聴器に新しい電池を挿入する前に、電池のシールを完全にはがしてください。シールをはがすと酸素が供給され、電池は数秒後に使用可能な状態になります。

注意

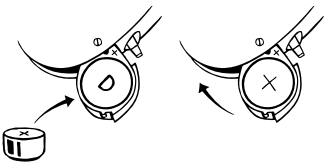
電池のシールの接着剤などが電池の表面に付着して取れない場合は、その電池を使用しないでください。



グリップ（凸部）に爪をかけ、電池ホルダーを開きます。電池ホルダーを無理に開きすぎないようにしてください。



電池のプラス（+）記号が上を向くようにして、電池を入れます。付属の電池取り出し用磁石を使って電池を入れることもできます。



電池ホルダーが閉まりにくい時は、電池が正しく挿入されているか確認してください。

電池を交換する時は、机にやわらかい布などを敷いた上で行ってください。

電池電圧低下のお知らせ

電池が少なくなってくると、補聴器はお知らせ音で知らせます。このお知らせ音が鳴ってから補聴器がどのくらい使用できるかは個々に異なります。急な電圧低下が起きた場合、お知らせ音が聞こえない可能性もありますので、常に予備の電池を持ち歩くことをお勧めします。

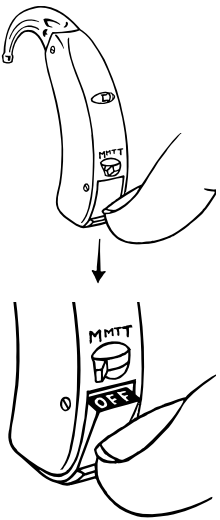
重要

消耗した電池を補聴器に入れたまま放置しないようご注意ください。消耗した電池から電解液が流出すると、補聴器の故障の原因となります。

重要

電池を完全に使い切ると、補聴器から突然音が聞こえなくなる場合があります。通行中や、警報など周囲の音を聞く必要がある場合はご注意ください。

補聴器電源のオン/オフ（入/切）



電池ホルダーは電源のオン/オフ（入/切）スイッチとしても機能します。

スイッチを上方向に押し、電池ホルダーを完全に閉じると、補聴器の電源が入ります。

スイッチを下方向に押し、電池ホルダーを少し開くと、補聴器の電源は切れます。

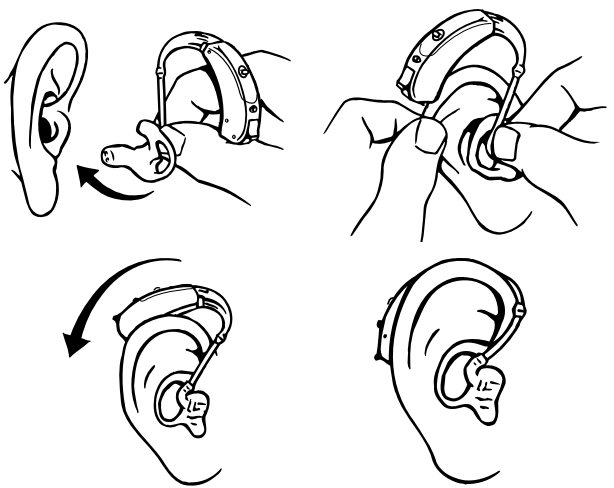
補聴器の電源が切れた状態の時は、電池ホルダーにある「OFF」の文字が見えます。補聴器の電源を切った後、再度電源を入れる際は、3秒以上お待ちください。

補聴器を使用しない時は、必ず電源を切ってください。数日間使用しない場合は、電池を取り出して保管してください。

補聴器の装着方法

チューブの下側を持ち、イヤモールドを外耳道にゆっくり挿入します。もう片方の手で耳を後方、上方向に引っ張ると、装着しやすくなります。

補聴器を耳の後ろに掛け、フックが耳と頭の間にぴったりと収まるようにします。



別冊の取扱説明書「耳かけ型/RIC/RITE補聴器用イヤセット」も併せてご参照ください。

イヤセットが耳に合わなかったり、耳の皮膚が赤くなったり違和感などの異常を感じる場合は、販売店にご相談ください。

補聴器の取り外し方法

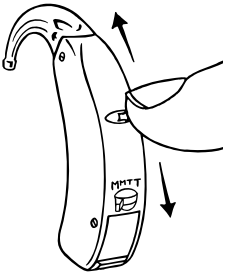
補聴器を耳の後ろから外します。

チューブの下側を持ち、イヤモールドを外耳道から注意深く引き出します。取り出しにくいときは、イヤモールドを左右に揺らしながら引き出してください。あるいは、もう片方の手で耳を後方、上方向に引っ張ると取り出しやすくなります。

音量調節

補聴器の音量は、周囲の音の環境に応じて自動的に調節されます。

ボリュームレバーを操作して、お客様ご自身で音量を調節することができます。



ボリュームレバーを上に上げると、音量が段階的に上がります。

ボリュームレバーを下に下げると、音量が段階的に下がります。

ボリュームレバーを操作する度に、お知らせ音が聞こえます。音量を上げる度に「ピッ」という高い音が聞こえます。音量を下げる度に「プッ」という低い音が聞こえます。音量が最大または最小に達すると、「ピー」または「プー」という長い音が聞こえます。

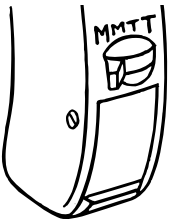
重要

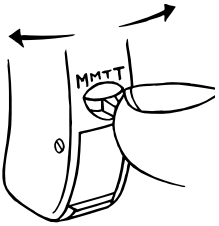
補聴器の音が大きすぎる、小さすぎる、音が歪んで聞こえるなどの違和感がある場合は、販売店にご相談ください。

リスニングプログラム

M	補聴器のすべての機能が自動的に働き、さまざまな聴取環境において快適性を確保します。
T	補聴器のマイク(M)ではなく、テレコイル(T)からの音が聞こえます。テレコイルは、ループ・システムが設置された場所などで使用できます。このプログラムでは、テレコイルを通して必要な音源からの音のみを聞くことが出来ます。
M+T	補聴器のマイク(M)とテレコイル(T)の音が聞こえます。

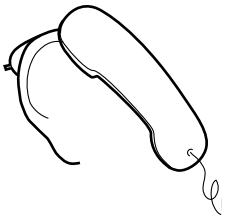
後にお客様の生活環境の変化に応じて、リスニングプログラムの組み合わせを変更することもできます。プログラムの追加や変更に関しましては、販売店にご相談ください。





リスニングプログラムの切り替え
プログラムスイッチで、プログラムを切り替えることができます。

電話の使用



電話を使用する際には、受話器を直接耳に向けるのではなく、耳の上に向けてください。音が聞こえにくい場合は、受話器を少し動かして大きく聞こえるところを探してください。

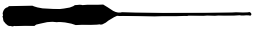
お使いの電話機が「補聴器対応」のもので、受話音を磁界として出力できるタイプの場合、補聴器にテレコイル(T)のプログラムを設定することで、電話の音を直接聞くことができます。詳しくは、販売店にご相談ください。

お手入れ

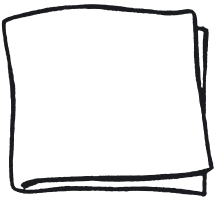
同梱されている以下の用具を使って、補聴器のお手入れをして下さい。別冊の取扱説明書「耳かけ型/RIC/RITE補聴器用イヤセット」もご参照ください。

1. お手入れ用具（ベント用）
2. やわらかい布

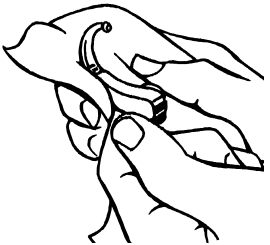
1.



2.



ご不明な点は、販売店にお問い合わせください。

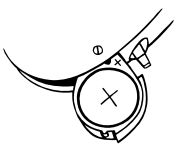


補聴器のお手入れ

ご使用後は、やわらかい布で補聴器を拭いてください。

マイクの入音口が詰まっている場合は、販売店にご連絡ください。

重要
補聴器は決して水や洗剤などで**洗わないで**ください。



補聴器を使用しない時は、補聴器の通気や乾燥のため、電池ホルダーを開けた状態で、暖かく乾燥した場所に保管してください。

アクセサリ

外部機器との接続

本品にオージオシュー（別売りのアダプター）を取り付けると、外部電気音響機器（ラジオ、テレビなど）だけでなく、様々なアクセサリ（FM、CROS、BiCROS）に直接接続できるようになります。こうすることで、例えば、ラジオやFMマイクを着けた人からの音声を、補聴器を通して直接聞くことができます。

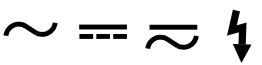
次のページに、お客様の補聴器のオージオシュー使用時の設定を記入しておくことをお勧めします。

外部機器との接続の詳細については、販売店にご相談ください。

重要

電源コンセントに接続した機器に補聴器を接続する場合、その機器が国際規格 IEC 60065、IEC 60950-1、IEC 60601-1、または同等の安全基準に準拠していることが求められます。

以下の記号のいずれかが表示されているソケットには、補聴器を接続しないようにしてください。



FM システム

FMシステムは、補聴器のアクセサリとして使用できる補聴援助機器です。ワイデックスのFMシステムはスコラ（SCOLA）といい、無線マイク（送信機）と、FMシューを介して補聴器に接続する受信機で構成されています。

スコラFMシステムは、お客様の要望に応じて設定することができます。

スコラFMシステムの詳細については、スコラFMシステムの取扱説明書をご参照ください。

お客様に適した補聴援助機器の詳細については、販売店にご相談ください。

故障と思われるときの対処方法

問題点	考えられる要因	解決策
補聴器から音が聞こえない。	補聴器の電源が入っていない。	電池ホルダーがしっかり閉じているか、確認してください。
	電池の消耗または電池不良。	新しい電池を入れて試してください。
補聴器の音が小さく感じる。	電池電圧が低下している。	新しい電池を入れて試してください。
	外耳道に耳垢が詰まっている。	耳鼻科医にご相談ください。
	聴力が変化した。	販売店にご相談ください。
	マイクロホンの音口が汚れで部分的に詰まっている。	販売店にご相談ください。
ピーッというハウリング音が常に聞こえる。	外耳道に耳垢が詰まっている。	耳鼻科医にご相談ください。
補聴器が断続的にしか機能しない。	電源オン/オフ(入/切)スイッチが汚れている。	電源のオン/オフ(入/切)を数回繰り返してください。

注意：この対処方法はこの補聴器本体のみに該当します。イヤセットについては、別冊の「耳かけ型/RIC/RITE補聴器用イヤセット」の取扱説明書をご参照ください。

問題が改善されない場合は、販売店にご相談ください。

補聴器の取り扱い上の注意

補聴器は、精密機器として慎重に扱ってください。また、適切なお手入れをすることによって、より長くお使いいただくことができます。補聴器のお取り扱いについては、次の点にご注意ください。

注意

- ご使用後は、必ず電源を切ってください。数日間使用しない場合は、電池を取り出して保管してください。
- 補聴器を使用しない時は、電池を取り出してから乾燥ケースに入れ、お子さまやペットの手の届かない、乾燥した場所で保管してください。
- 高温、高湿度の場所は避けてください。また、スポーツなどでたくさん汗をかいた後は、必ず補聴器を十分乾燥させてください。
- 補聴器を落とさないよう、ご注意ください。補聴器のお手入れや電池交換は、机にやわらかい布などを敷いた上で行ってください。
- シャワーや入浴、洗顔、化粧の前には、必ず補聴器を外してください。ヘアドライヤーや香水、スプレー類、クリーム類などを使用する時も同様です。

特に注意すること

重要

補聴器やその部品、付属品や電池は口に入れたり、不適切な使用をすると非常に危険です。怪我や、思わぬ事態になりかねません。お取り扱いには十分ご注意ください。万一誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

- 補聴器やその部品、付属品や電池は、口に入れる危険があるためお子さまやその他誤って口に入れてしまいそうな方の手の届かない場所に保管してください。お子さまの目の前では電池を交換しないようにし、電池の保管場所も見られないようにしてください。使用済みの電池の廃棄にも十分ご注意ください。
- 電池は非常に小さいため、錠剤などと間違えやすく危険です。電池や補聴器は、飲み込んでしまう危険性がありますので、決して口に入れないでください。
- ご使用後は補聴器のお手入れをし、破損がないことを確認してください。万一、補聴器やイヤセットが耳の中で破損した場合は、直ちに販売店にご相談ください。ご自分で破損した部品を取り除こうとしないでください。

重要

- 電池は必ず空気電池を使用してください。万一、指定以外の電池や再充電した電池など、適切でないものを使用すると、爆発する危険性があります。また、電池の廃棄は地区の法令に従ってください。
- 他人に補聴器を貸したり、譲渡することは避けてください。お客様の聞こえに調整した補聴器を他の人が使用しても耳に合わず、耳を痛める恐れがあります。また、衛生面でお互いに感染症発症などのリスクが生じます。
- リスニングプログラムは、周囲の音環境に合わせて選択するようにしてください。特に、車の音や警報など周囲の音を聞く必要がある場合はご注意ください。
- 補聴器は抗アレルギー素材を使用していますが、万一使用中に耳や外耳道付近に「かぶれ」が生じた場合は、販売店または耳鼻科医にご相談ください。

重要

- 補聴器を使用する際は、定期的に耳の通気を行ってください。耳の中が十分通気されないと、外耳道に感染症を起こしやすくなります。そのため、就寝時は補聴器とイヤセットを外して外耳道を通気させてください。可能であれば、補聴器が必要ない時間帯は日中も補聴器とイヤセットを外してください。必要に応じて補聴器とイヤセットのお手入れと点検を行ってください。万一耳に異常を感じた場合は、耳鼻科医にご相談ください。なお、補聴器は絶対にアルコールや塩素系洗剤などで拭かないでください。
- 補聴器の故障を防ぐため、乾燥ケースを常用してください。
- この補聴器は、鉱山、爆発性ガスのある場所で使用しないでください。
- **超音波、レントゲン、MRI、CTスキャンなど放射線・電磁波・超音波を発生する機器を用いた検査や、理学療法、放射線療法などの治療を受ける場合は、必ず事前に補聴器を外してください。**補聴器は、絶対に電子レンジの中に入れないでください。これらの機器から発生する放射線・電磁波・超音波の種類によっては補聴器を損傷させたり、補聴器が熱くなったりすることがあります。電磁(IH)調理器や、室内外の防犯警報装置、携帯電話、超音波洗浄器などから発生する放射線・電磁波・超音波は比較的弱く、補聴器を損傷させるほどではありませんが、補聴器に雑音や歪みが生じる可能性があります。

注意

- この補聴器は国際規格に準じて干渉テストを行っております。しかしながら、警報装置や携帯電話などから予期せぬ電磁放射の影響を受ける可能性があります。
- この補聴器は国際的な電子適合基準の規格に合うように設計されていますが、医療機器など他の機器と干渉する場合もあります。
- 補聴器やその部品は、絶対にご自分で分解、または修理しようとしないでください。

補聴器のご使用にあたって

付記

- 補聴器を使用することによって、正常な聞こえに戻るわけではありませんが、現在の聴力を最大限に活かす手助けとなります。新しい補聴器や新しい音に慣れるには時間がかかることもご理解ください。
- 多くの場合、補聴器を常用しないとその補聴効果を充分に得られません。
- 補聴器装用は、聴能を高める方法の一部にすぎません。聴覚トレーニングや読唇法訓練などを補う必要がある場合もあります。
- 補聴器を使用すると、耳垢がたまりやすくなることがあります。耳が耳垢でふさがっていると思われる時は、耳鼻科医にご相談ください。耳垢が詰まると聞こえが低下するだけでなく、補聴器の効果にも大きく影響します。定期的に耳鼻科医を受診されることをお勧めします。

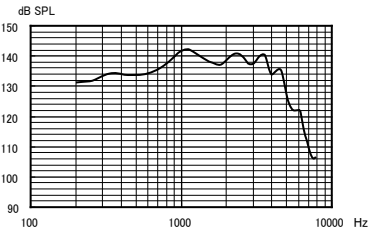
電気音響的性能

電気音響的性能は、JIS C 5512-2000 による。

		BV-38
規準周波数		1600 Hz
電池の種類		PR44 1.4 V
90dB最大出力音圧レベル	500Hz	134 dB
	1600Hz	138 dB
	ピーク	148 dB 以下
最大音響利得	1600Hz	82 dB
等価入力雑音レベル(※)		32 dB 以下
電池の電流(※)		1.5 mA 以下
全高調波ひずみ(※)	500Hz	4.0 % 以下
	800Hz	3.0 % 以下
	1600Hz	2.0 % 以下
誘導コイル入力の最大感度		108 dB
誘導コイルが最大感度となる方向		垂直方向

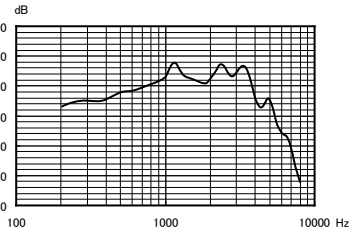
(※)テストモード1で測定

90 dB 最大出力
音圧レベル
周波数レスポンス

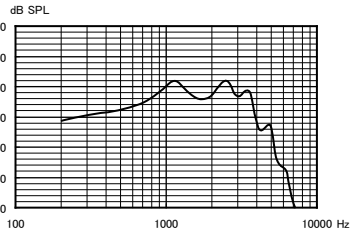


最大音響利得の
周波数レスポンス

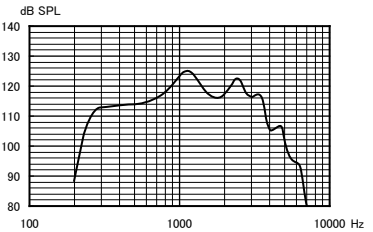
入力：50 dB SPL



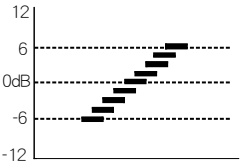
規準
周波数レスポンス(※)



誘導コイル入力の
周波数レスポンス(※)



利得調整器の変化特性
(ボリュームコントロール付きの場合)



電気・電化製品には、廃棄時の処理が適切でないと、人体や環境に影響を及ぼす危険性のある材料、部品、物質が含まれています。

[redacted]

補聴器やその付属品、電池を通常の廃棄物として処分しないでください。

補聴器やその付属品、電池については、地区の定める電気・電化製品の処分方法に従って処分するか、購入元へ処分を依頼してください。適切な処理が、人体の健康および環境を保護するために役立ちます。

この取扱説明書で使用される記号

ワイデックス株式会社が製造販売する管理医療機器の表示
(ラベル/取扱説明書/等)に共通して使用される記号

記号	名称/意味
	製造元 製品の製造者名、製造所の所在地 製造年月も記載される場合があります。
	製造年月 製品が製造された年月
	使用期限年月 製品の使用可能期限
	ロット番号 製品のロット番号 (製造時の生産単位を特定する番号)
	カタログ番号 製品のカタログ (品目) 番号
	シリアル番号 製品のシリアル (製造)番号*
	直射日光、熱遮蔽 製品を、直射日光および熱から遮蔽してください。

記号	名称/意味
	水ぬれ禁止 製品を湿気から護り、雨に濡らさないでください。
	保管温度の下限 製品を安全に保管できる最低温度
	保管温度の上限 製品を安全に保管できる最高温度
	保管温度限界 製品を安全に保管できる最高および最低温度
	取扱説明書を参照 取扱説明書には安全に関する重要なお知らせ　(重要/注意) が含まれていますので、製品のご使用前に必ずお読みください。
	重要/注意 重要/危険注意の記号を伴う事項は、製品のご使用前に必ずお読みください。
	WEEEマーク **一般廃棄物ではありません。** 製品の廃棄は、自治体により定められた分別回収・リサイクルに従ってください。

記号	名称/意味
	CEマーク 製品は、CEマークに関する欧州指令によって定められた要件に適合しています。
	注意 製品は、R&TTE指令（無線機器、電気通信端末機器に関する欧州指令）により、一部CE加盟国での使用に制限を伴うクラス2機器として分類されます。
	C-Tickマーク 製品は、オーストラリアとニュージーランド市場に供給される製品に対する、 EMC・無線スペクトル規制要件に準拠しています。
	電磁波による干渉 製品の近くでは電磁波による干渉が起きる可能性があります。

*製品に記載されている6桁または7桁の数字はシリアル番号です。製品によっては、シリアル番号の前に SN が記載されない場合もあります。

ワイデックス株式会社
製造販売元　ワイデックス株式会社
〒131ー0034 東京都墨田区堤通1-19-9
リバーサイド隅田セントラルタワー
TEL·0120-332-604（ミミニ ロウホウ）　FAX·0120-332-394（ミミニ サクヨ）
http://www.widexjp.co.jp
許可番号　13B2X00020　管理医療機器

WIDEX A/S Nymoellevej 6, DK-3540 Lynge, Denmark
www.widex.com

CE 0459

Manual no.:
9 514 0062 016 #06
Issue:
2014-10

9 514006 201602

WIDEXおよびBRAVISSIMOはWidex A/Sの登録商標です。

FSC
www.fsc.org
MIX
From responsible sources
FSC® C068122